

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2022-2023 年度テーマ



イマジン  
ロータリー

Painted by Kenzo Tanaka

第 63 代会長 中山富貴子  
第 63 代幹事 富田 桂司

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2022 年 12 月 8 日(木) 第2996回例会 天候:晴れ 司会:安武 勝副幹事 No. 21

＝本日の例会行事＝

- ◇歌唱 「我等の生業」 「覇気あれ我クラブ」 ◇会長挨拶
- ◇幹事報告 ◇委員会報告 [社会奉仕]
- ◇卓話 クラブ研修委員会 成田栄二君/大箭剛久君⇒



◎幹事報告

◆国際ロータリー日本事務局より ◇12月度 ロータリーレポートのお知らせ 1\$ = 138円

◆ガバナー事務所より ◇My Rotaryからの『2022年度版 手続要覧』ダウンロードについて

●『手続要覧』をはじめ、各種の組織規程文書は、My Rotary の下記ページからダウンロードが可能です。

<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/about-rotary/governance-documents>

※手続要覧には、国際ロータリーの定款、細則 並びにRCの標準定款、推奨細則、さらに様々なロータリーの重要な資料も記載されておりますので、全会員の皆様がダウンロードし、お手元に常備することを強く推奨します。

◆国際ロータリー第2830地区 田中常浩ガバナーより 青森県津軽地方豪雨災害支援金の御礼と報告

◆タウンニュース

スマイル報告 水嶋 聡会員

中山富貴子君&富田桂司君 研修委員会卓話、成田さん、大箭さんどうぞ宜しくお願い致します。今日は茅ヶ崎駅南口の植栽、社会奉仕活動のご参加宜しくお願いいたします。

田中賢三君 成田さん、大箭さん、本日のクラブ研修委員会卓話よろしくお祈りします。

成田栄二君 今日卓話担当です。大箭さんの邪魔をしないよう気を付けます。

和田幸男君 成田さん、大箭さん卓話よろしくお祈りします。

吉田恵子君 今日は植栽の日ですね。晴れてよかったです。

北村公子君 なんとなくあわただしくなってきました。かぜなどひかず元気に過ごしたいと思ってます。

大箭剛久君 2週間程前に傷めた右肩の具合が悪化し、ここ4~5日は全く右腕を上げられない状態が続いています。ネクタイを締めたり、服を着たりするのも難儀していますが、TOTOさんのウォシュレットのおかげでお尻は清潔さを保っています。あ、お食事中でしたら失礼!

加瀬義明君 成田さん、大箭さん卓話よろしくお祈り致します。本日、例会後に東京で会議の為、植栽に参加できず申し訳ございません。

木村信一君 成田さん、大箭さん卓話楽しみです。

橋本正一君 今日は太平洋戦争が始まった日であり、ジョン・レノンが射殺された日、もう一つ、仏教徒にとって大事なのは、お釈迦さまが悟りを開かれた日です。

安武 勝君 成田さん、大箭さん卓話よろしくお祈りします。今日はとても良い植栽日和です。みなさんよろしくお祈りします。

秋本一茂君 寒くなりましたが、お体に気を付けて楽しい年末にして行きましょう。

平賀裕祥君 一昨日の朝、海から大量の水蒸気が発生し、幻想的な景色でした。江の島や烏帽子岩がキレイでした。

宇野雅仁君 成田会員、大箭会員、本日の卓話よろしくお祈り致します。

水嶋 聡君 本日 2022年12月8日 AM8:00より茅ヶ崎町おこし企画「茅ヶ崎哀愁ライン」YouTubeにて世界同時公開致しました。いいね!チャンネル登録、よろしくお祈り致します。皆様に幸有れ!

[本日 16件、19,000円です]

## 出席報告 横山 貢会員

| 日時    | 回    | 現会員 | 計算会員 | 出席 | MU済 | 欠席 | 暫定出席率  | 修正出席率         |
|-------|------|-----|------|----|-----|----|--------|---------------|
| 12/8  | 2996 | 43  | 40   | 28 | 2   | 10 | 75%    |               |
| 11/24 | 2994 | 43  | 40+1 | 27 | 5+2 | 7  | 78.05% | <b>83.93%</b> |

### 研修委員会卓話 成田栄二会員

私の入会時には研修委員会というものではなく、情報委員会と称していました。ロータリーレートや規定審議会の内容を伝えるというのが役割で、ベテランの方がメンバーを務めることが多かったです。2002年にDLP(District Leadership Plan)が強制的に適用され、2004年にはCLP(Club Leadership Plan)が導入され、それに合わせて2006年にクラブ研修委員会が設置されました。2007年に小佐野圭三ガバナーがCLPを推進しようとして、その年のガバナー補佐だった茅ヶ崎クラブの山口利通さんが導入を決めました。それもあって2008年からはCLPを導入するクラブも増えました。2011年に森洋ガバナーがクラブの研修リーダー導入を決め、2011年6月に研修リーダーと会長エレクトなども含めて話し合いをしましたが、会長と研修リーダーのどちらが偉いのかという話になって、なかなか導入が進まなかった経緯があります。私自身は2008年度の会長、2011年度のガバナー補佐だったこともあり、研修委員会については思いが深いものがあります。役割としては、他の委員会に横串を刺すようなイメージでしょうか。

ロータリー用語が難解だという人もいますし、今クラブに新しい人も入ってきているので、是非皆さんに用語を理解する意味でも、「ロータリー情報ハンドブック」や「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」「今日からロータリアン」といった書籍を購入してもらいたいと思います。本日より予約を受け付けますので、希望される方はお声掛けください。

### 研修委員会卓話 大箭剛久会員

FELLOWSHIP。例会ごとに使用する青いタスキにも書かれておりますが、これは「友情」を表す言葉です。フェローには「仲間」とか、親しい間柄を表す意味で「やつ」と訳されることもあります。つまり、平和フェローというのは、「平和構築を目指す仲間」という意味合いになります。

平和フェローの参画するロータリー平和センタープログラムは、ポール・ハリス没後50周年を記念し創設された、ポリオ根絶に次ぐ重要なプログラムです。当初はロータリーによる平和大学設立構想でした。世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築く事を目的とした奨学金プログラムです。現在世界7か国・8大学と提携し、ロータリー平和センターという施設を設けて、独自のプログラムを学んでもらうシステムになっています。

世界には「修士号取得プログラム」を学ぶ5つのロータリー平和センター(6校の提携大学)と、「専門能力開発修了証プログラム」を学ぶ2つのロータリー平和センター(2校の提携大学)があり、毎年最高130名が活動歴、学歴、職歴に基づく世界審査を得て平和フェローとして選考されています。その平和センターの1つが東京都三鷹市に所在する国際基督教大学にあります。日本では近隣6地区(ホストエリア)と協力

して援助しています。

ということで、これまでにICUでは160名あまりの平和フェローを輩出しています。ここ2年ほどはコロナの影響で留学生の受け入れができずにいましたが、今年は19期生から21期生として選考された17名が来日しており、当2780地区ではそのうちの4名を受け入れております。

プログラムを卒業した平和フェロー達の進路ですが、約2/3が非営利組織・政府機関・国連機関・法律関係・警察関係・ジャーナリズム・世界銀行などの平和・地域開発に直結する職場、残り1/3が教職や研究・学術関係などに進んでいるようです。続きまして、本プログラムに私たちロータリアンがどのような役割を果たしているかについてご説明いたします。

日本ではホストエリア制度を採用しており、ホストエリアは国際基督教大学の所属する第2750地区とその周辺の地区で構成されています。もともとは2750地区が単独で支援をしていたのですが、現在は首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)にある2750地区・2580地区・2590地区・2770地区・2780地区・2790地区の6つの地区が担当しており、毎年来日する平和フェロー(通常9名)を各地区で分担して受入れする形を取っています。

ロータリー平和センターの所在地区である第2750地区のパスガバナーが、ロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーターとして任命されています。コーディネーターはホストエリア連絡協議会を設置し、6地区より委員及びカウンセラーの推薦を頂き、年に数回会合を持ち、フェローの支援を行っています。

2002年に創設されて以来、世界では1,400人以上のフェローを輩出し、現在さまざまな機関・団体の要職に就いて、平和をめざす任務に取り組んでいます。が、そのうち日本の地区から海外に派遣した平和フェローの数は、37名に過ぎません。先日、2023-24年度の候補生に日本人が合格したという話を聞きましたので、日本人38人目のフェローとなります。1人でも多くの日本人平和フェローを海外の平和センターへ送り出すことが重要だと考えます。

こちら(写真)が私の担当している留学生のLUCIA PULIDOさんです。コロンビア出身の弁護士で、平和フェローに応募した理由としては、人権と平和のアドバイザーになるという目標達成のため、と自己紹介書に書かれていました。再来週のクリスマス家族会にも参加されるので、皆さん、よろしくお願いたします。

コロナ以降、海外に出かけられなくなり、国際奉仕の活動が極端に制約されている昨今ですが、このような留学生の支援は、まぎれもなく日本に居ながらにしてできる国際奉仕の一環であると身をもって感じています。



平和フェローのルシア・ブリドーさん